

特別活動指導案

日時：平成18年11月21日（金）5校時

学級：2年A組 男子12名 女子14名 計26名

授業者：教諭 富永 郁子

1 題材名 「私たちの進路」

2 題材について

〔題材観〕

人は職業を通じて社会と深く関わり、生きている。職業・勤労についてどのような考えをもち、どのような職業に就き、どのように職業生活を送るかは、人がいかに生きるか、どのような人生を送るかということに深く関わっている。しかし今日、職業・勤労に対する理解の不足や安易な考え方など、若者の職業観・勤労観の未熟さが指摘されており、キャリア教育の必要性が求められている。その中で、キャリア教育を進めていくうえで、直接的に関わってくる教育的・社会的な課題はたくさんある。ニート、フリーター、不登校、そして中退などは、その最たるものといえるだろう。これらの課題がネガティブな問題だからといって、今の生徒の進路意識を育てていくうえで、避けて通れるものではない。むしろ、総合的にバランスのよい進路意識を育成するためにも、あえてこの事実に対して正面から取り組む必要があると考えた。

そこで、この題材では最近の進路状況を見ずえながら、自分の適性について考えたり、現状について理解することで、自分の進路について意識させ、見通しをもって考える素地を養い、この後の「上級学校の種類」や「進路の吟味」へとつなげていきたいと考える。

〔生徒観〕

素直で、落ち着いた生活のできる生徒である。生徒会活動や部活動など、さまざまな場面で3年生からバトンを受け継ぎ、学校のリーダーとして後輩を引っ張っていきこうと意欲をもって活動している。

進路の学習に関しては、昨年、「地域の先輩の生き方に学ぶ」と題して行われた進路講演会や、自分の親への職業インタビュー、親の職場見学などの活動を通して、「働くこと」について考えてきた。そして、9月に行われた5日間の「キャリア・スタート・ウィーク」で、自らの目と耳と心で、「働くこと」を体験し、厳しさや喜びを実感してきた。「中学卒業後の進路について」未定と解答した生徒は事前20%に対し、事後は8%に減り、「将来なりたい職業を具体的にもっていない」と回答した生徒は、事前28%に対し、事後は20%になった。しかし、まだ卒業後の進路と将来なりたい職業とを関連して考えている生徒は少なく、とりあえず「高校進学」としてだけとらえている生徒が多い。そこで、残り1年4ヶ月で義務教育が終わり、進路選択が迫られる年齢を迎えることを意識させ、自らの生き方を切り開き、将来の生き方を真剣に考えて行動する態度や能力を身につけさせたい。

〔生徒の見方・考え方を生かした指導〕

これまでの学習を通して、進路学習の重要性や自分の将来への興味や関心が持てるようになってきた。しかし、将来自分がどんな職業に就いて、どのような職業生活を送り、どのような生き方をしたいのか。そのために、卒業後の進路をどう関連づけて考えるかまでには至っていない。

進路変更の課題について、学級の仲間同士で正面からとらえることにより、近未来の自分と重ね合わせて考え、働くことへの興味・関心をさらに高め、職業選択能力の育成や職業観・勤労観の形成に役立てたい。そして、将来の夢をもつことの意義を理解し、その実現のために今やらなければならないこと、さらに知りたいことや心がけたいことについて考え、実践しようとする意欲をもたせたい。

3 指導計画

学習内容	学習活動	時間
・進路希望アンケート	・将来の夢や希望する職業、興味・関心のある職業についてアンケートに答える。(体験先の検討)	放課後
・「キャリア・スタート・ウィーク(職場体験学習)」で何やるの? 〔ガイダンス〕	・職場体験学習のねらいや計画を知る。	1
・体験する事業所を選ぼう!	・各職場の仕事内容を知り、リストの中から体験先を決定する。	1
・自己紹介カードを書こう!	・自分の良さや職場体験に対する目標を知ってもらえるような自己紹介カードを作成する。 (自己理解)	2
・自己紹介をしよう!	・体験先での自己紹介の内容を考え、練習する。	2
・職場体験のねらいを確認しよう! 〔ガイダンス〕	・心構えやねらいの確認と日誌記入の仕方を知る。	1
・挨拶と緊急時のシミュレーション 〔ガイダンス/面接〕	・最終の確認と決意の確認をする。 (持ち物、服装、時間、通勤路、挨拶・・・など)	(総合) 4
・「キャリア・スタート・ウィーク」 〔5日間の職場体験学習〕	・体験日誌の記入と提出	(総合) 26
・職場体験を振り返ろう!	・5日間の体験を振り返り、自己評価とアンケートへの記入をする。	1
・お礼状を書こう!	・学んだことや感じたことを含め、感謝の気持ちをお礼状に書き表す。	1
・職場体験のまとめをしよう!	・報告会用の原稿を作成する。	2
・職場体験で学んだことを発信しよう!〔報告会〕	・報告会により、体験を共有化する。	+放課後 2
・私たちの進路	・夢や目的意識の重要性について考える。	(総合) 1
・中学卒業後の「勉学の道」について考えよう!	・学ぶための制度と機会について知る。	【本時】 4
・「先輩と語る会」	・先輩から高校生活について話を聞き、各高校の様子や特色について知る。	2 (総合)

4 本時の指導

(1)ねらい

進路を考えて行く時に、夢や目的意識をもつことが大切だということに気づき、自らの進路選択に活かしていくことができる。

(2)具体的評価規準

観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
内容項目	情報や話し合い活動に意欲的に参加し、自分の考えを深めようとする。	自分なりの考えをもち、立場を明らかにしながらプリントにまとめることができる。	数字やデータをプリントに記入し、発表することができる。	夢や目的意識をもって進路選択をすることの大切さを理解する。

(3) ガイダンス機能にかかわる能力

- ア **思考能力** : 進路選択するときに必要なことについて考える。
- イ **意志決定能力** : 夢や目的意識をもって進路選択をしていこうとする志をもつ
- ウ **情報選択能力** : 夢や目的意識をもつことの大切さを、資料を通して学ぶ。

(4) 展開

学習の流れ		生徒の見方や考え方を生かした授業展開 「課題設定」「学び方」「自己評価」への指導	評価
導入 10	1 動機づけ 職場体験の振り返り 事後アンケート結果から ・学級内での希望職種 ・未定者の数	職場体験事後アンケート結果から、学級の実態を知る。 ・事前/事後の結果から (・卒業後の進路未定者 20% 8%) (・将来の希望職種未定者 28% 20%) ・92%が高校進学を希望しているが、実際に高校進学をした後に中退をする人(進学者を100人とした場合そのうちの8人)がいる(実数に直すと120万人中9万6千人)ことなどの情報を与え、とりあえず高校進学をと考えることの危うさを実感させ、真剣に進路を考えていこうとする雰囲気をつくる。	アンケートの結果や進路情報から、真剣に進路について考えていこうとしているか。 ・観察(挙手・発表)
	「日本人村、高校生(進学者)100人の未来」から、自分の進路を考えよう。		
展開 30	3 課題解決の見通し	「高校進学者100人がいる日本人村/高校生100人のその後」について進路変更した人の人数を把握し、自分の考えをまとめる。	進路に関わる情報を理解できたか。 ・机間指導 (プリント/発表)
	4 課題の追求	・進路変更をする人が出る理由 ・進路変更を経験しなかった人の理由 ・進路変更について、自分の考えをまとめる。(否定/肯定) それぞれの立場で考えを発表し、考えを深める。 ・小グループでの話し合い。	自分の考えをまとめることができたか。 ・机間指導 (プリント/話し合い活動)
まとめ 10	5 学習課題の解決 今日の学習について、振り返りシートに記入する。	話し合いを通して、進路を考えていくときに大切だと思うこと、重要だと思うことについて自分の考えをまとめる。	他者の考えを聞き、自分の考えを深めることができたか。
	6 振り返り 授業を振り返って、感じたことや気づいたことを発表し合う。	・自分の進路選択とあわせて考えさせる。 ・数名の生徒に発表させる。(挙手または指名)	・机間指導 (プリント/発表) ・自己評価